



日本の空港初！ 大規模水素ステーションの導入について

新関西国際空港株式会社は、世界最高水準の環境性と安全性を備えた「環境先進空港」をめざし、スマート愛ランド構想のもと、空港島内での太陽光や水素等のクリーンエネルギーによる創エネや、エネルギー使用の効率化をはじめとした環境事業に積極的に取り組んでいます。

このたび、スマート愛ランド構想の柱の一つである水素グリッドプロジェクトの一環として、2期空港島内に大規模水素ステーションを設置することになりました。国内の空港に導入される商用の水素ステーションとしては初めてで、全国では最大級の規模となります。

本水素ステーションは、国内市場に導入される燃料電池自動車(FCV)への水素充てんを行い、また、今後到大阪国際空港等からのリムジンバスや関西国際空港内の循環バスで運行される燃料電池バスへの充てんに対応できる施設となります。

また、水素ステーションには、水素エネルギー関連の情報発信拠点として見学いただける環境展示スペースの併設を計画しており、環境展示スペースでのFCVや水素関連技術の展示など、水素エネルギーの普及啓発に貢献していきます。

【イワタニ水素ステーション関西国際空港の概要】

- 名称 イワタニ水素ステーション関西国際空港(仮称)
- 事業会社 岩谷産業株式会社
- 所在地 大阪府泉南郡田尻町泉州空港中
- 敷地面積 約 2500 m²
- 延床面積 約 700 m² (キャノピー含む)

【水素ステーションのイメージ・設置場所】

